



## 今後の道路政策に対する意見書

都市と地方とを結ぶ国道等幹線道路は、過疎地域を中心に生活重要路線となっている。国道403号など一般国道においては改良整備、安全対策が進んでいるものの車社会の進展に伴い、より便利さ快適さを求める利用者ニーズに充分対応している状況にはない。また高速道が平行して通過していても、アクセス道路としてまた、事故や災害の際代替路線としての機能が充分果たせない状況にある。

県道、村道改良も国道との関連性を重視したものが多く、円滑な車や人の流れをつくり地域社会の発展や若者の定着を促し人口流失を抑える上で重要施策の一つとなっている。

また行政の広域連携が進む中、都市や主要公共機関との時間距離の短縮が行政効率を高める上で今まで以上に期待されている。

そこで、下記事項について要望いたします。

### 記

- (1) 国県への要望、要請を主体とした道路行政から、道路計画、建設における国県市町村のより緊密な協議体制の確立。
- (2) 道路財源の安定的確保。
- (3) 高速道、国道、県道、市町村道の有機的結びつきを重視した施策。
- (4) 災害時ほか、きめ細かな道路情報の一元化。
- (5) 除雪作業、凍結防止策の円滑化、土砂崩れ等発生し易い危険個所の安全確保対策。

平成19年5月7日

麻績村長 飯森文治

